

No. 57

新年号

電機連合 西四国地協ニュース

発行所
全日本電機・電子・情報関連産業
労働組合連合会
西四国地方協議会
発行人 大谷 宣彰
編集人 上甲 章史
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132
愛媛県勤労会館内

“難しい時代だからこそ” 組合員の目線を大事に！ 組合員の幸せづくりを追求！

旧年中は地協活動に対しまして、ご支援・ご協力を賜り有難うございました。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

さて昨年は自然災害による被害が相次ぎ、多くの方がその犠牲となりました。一方でソチオリンピックでの日本人選手の活躍やテニスの錦織圭選手の活躍など明るいニュースもありました。科学の分野では青色LEDの発明によるノーベル物理学賞の受賞とSTAP細胞の問題が対照的に報じられました。



2015年総合労働条件改善闘争への意思結集を

消費税の10%への増税は先送りされ、社会保障の課題が懸念されるものの、景気回復の腰折れを防ぐことには一定の期待が出来ます。国内消費の多くを占める個人消費の喚起の為に、本年も安倍政権から経営側に対し賃上げの要請が、あらゆる場面を通じて行われています。政府との関係を重んじる一部の経営者からはベースアップ容認の声も聞こえてきますが、決して政府が要請したからと言って簡単に私たちの賃上げが実現するものではないことは、昨年の交渉結果を見ても明らかです。私たち電機産業では円安や公共投資の増加により業績が改善している企業と、いまだ回復道半ばの企業とが混在しており、難しい状況下での闘争となることが十分予想されるだけに、電機連合統一闘争としての意思結集が重要であります。先行するマスコミ報道によって、組合員の皆さんの賃金改善に対する期待感が従来に増して膨らんでおり、そのことに少しでも答えられるよう、西四国地協としても傘下各組織との情報共有や地方連合から発信される春闘方針の徹底などに取り組んでいきます。

政策制度要求の実現に向けた取り組みの継続を

私たちの生活は、いうまでもなく政治に大きく左右されます。日本中が冷え込んでいる最中に第47回衆議院議員選挙が行われ、巨額の税金を使って出た結果は、過去最低の投票率と解散前とあまり変わらない与野党の勢力の再現による安倍政権の延命というものでした。電機連合は組織内公認候補である大畠章宏衆議院議員の再選と平野博文重点推薦候補の復活当選を果たすことが出来ました。組合員の皆様のご支援とご協力に改めて感謝いたします。政治への期待は失われたように思いますが、これが約半数の有権者の出した答えであり、しっかりと受け止めた上で、連合の目指す「働くことを軸とする安心社会の構築」に向けて、愚直な取り組みを進めなくてはなりません。本年4月には統一地方選挙が予定されており、電機連合推薦候補の必勝に向けたご支援とご協力をお願いいたします。

組合員の目線を大事に！ 組合員の幸せづくりを追求！

最後に、毎年年頭の挨拶の締めくくりに、前議長から引き継いだ「組合員の目線を大事に！ 組合員の幸せづくりを追求！」ということに触れさせていただいています。原点であるこの思いを忘れず、労働組合としての役割を自覚し、同じ電機産業に集う仲間の「西四国」という地域と人のネットワークを最大限活かせる取り組みを行っていきたいと思います。

本年も加盟組合の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

電機連合西四国地協 議長 大谷 宣彰



ご家族を含めた組合員の皆さんにとって 幸多い年となることを 心からお祈り申し上げます。



昨年の衆議院選挙では、与党が3分の2議席を維持し、安倍政権の基盤がより強固なものとなりました。民主党は議席こそ微増したものの、2大政党の一翼を担うには程遠く、今後の政権運営に対する野党のチェック機能が心配されます。

一方、電機連合の「大島章宏」はじめ、5人の重点推薦候補も厳しい選挙戦の中、全員当選することが出来ました。組合員の皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。

さて、本年も電機連合の運動にとって厳しい年であることは間違いありませんが、当面する3つの課題について触れておきたいと考えます。

2015年闘争

連合は、「**2%以上の賃金引き上げ**」、金属労協は「**6,000円以上の賃金改善**」という基本方針を確認しています。

電機連合は要求方針決定まで、これまで以上に様々な論議を重ね、賃金に関しては6,000円以上の賃金改善を要求することで進めています。

コンセプトは(1)デフレからの脱却と経済の好循環を図る(2)実質生活の維持(3)「人への投資」で電機産業の持続的発展を図ることだと考えます。その実現のためには、組合員の賃金改善はもとより、電機産業で働く全ての労働者、すなわち非正規労働者の底上げ、底支えも重要です。

取り巻く情勢は昨年にも増して複雑な状況にあり、消費税率引き上げの影響や物価が上昇局面にあることから個人消費が落ち込み、実質賃金が低下傾向にあります。そういった意味では昨年以上に、この闘争の持つ社会的意義が大きいといえます。

ただ、要求水準が近年経験のない高さであり、交渉は厳しくなることが予想されますが、闘争の持つ社会性を強く自覚し、困難を乗り越え、結果を出していきたいと考えます。

また、「統一闘争強化」に向けた新たな取り組みをスタートさせる闘いでもあります。

①何としても守る領域 ②主体的に処遇改善に取り組む領域、の二つの領域に分けて闘争を構築することとしましたが、特に②については政策指標やベンチマーク指標を生かしていただき、格差改善の取り組みなどにつなげていただきたいと思います。

労働運動の強化と組織拡大

昨年末の衆議院選挙結果でさらなる強固な与党が出来たことで、労働者保護法改悪に見られるような新自由主義的な政策がより鮮明に打ち出される恐れがあることは確かです。

今後直面する様々な社会的課題に対し、働く者、生活者の視点で労働組合がこれまで以上に対応していく必要があり、まさに組織力が問われる状況だといえます。

従って、組織力をさらに強化し、労働運動強化の原点でもある、組織拡大に全力で取り組んでいくことが重要です。

当面する選挙への対応

本年は統一地方選挙の年でもあり、組織内議員全員の当選に向け、万全の対応を図ることとします。

また、2016年7月実施の第24回参議院選挙に公認候補を擁立し闘うことを確認していますが、残り期間が少ないことから一刻も早く候補者を決定し、活動をスタートさせたいと考えます。

次回の参議院選挙も相当厳しい戦いになることが予想されますが、電機連合の総力で取り組みますので組合員の皆様のご理解とご支援をお願いします。

以上、新年にあたっての思いを述べましたが、課題解決に向け、皆様のご支援とご協力をお願いします。

電機連合中央執行委員長 有野 正治

『組織力の向上』にむけたユニオンセミナーを開催



11月7日から8日にかけて、中国・四国ブロック加盟組合を対象とするユニオンセミナーが開催され、西四国地協からは6名が参加しました。

セミナーでは、電機連合が行っている調査研究から見えてきた課題の提起や重点活動の一つでもある共済活動についての講義がありました。

翌日は、これからスタートする総合労働条件改善闘争の考え方について説明を受けました。

2日間の講義で、電機連合の取り組みに対する知識を深め各組織の役割や取り組みの重要性を再認識することが出来ました。

中堅中小労組の連携を強化

12月17日に、加盟組合の活動サポートを目的とした中堅・中小労組懇談会を開催しました。

電機連合の賃金政策部の村上さんより、2015闘争の考え方や今回から取り組む『政策指標』『ベンチマーク指標』について説明をいただきました。

また、参加した各組織からは、現在の取り組みや組織課題を報告し、相互に意見交換を行いました。



電機連合共済加入促進担当者会議を開催



福祉共済センターより方針説明

1月16日に、加盟組合の共済担当者を対象とする加入促進担当者会議を開催し、加盟組合からは、書記長・書記スタッフ・福祉担当者の合計18名が参加しました。

まず、福祉共済センターの柳沢統括部長より、2015年の取り組み方針の説明があり、各共済推進団体からも制度改訂内容の説明や各組織への推進要請がありました。

今回は、加盟組織での取り組み事例を一部紹介しながら、各組織での取り組み方について、担当者との意見交換を行いました。

最後には、2015年の地協全体目標と加盟組合での推進目標を全体で共有しました。



河野書記長から取り組み事例発表



担当者との意見交換

1月より コネクシオ労働組合四国支部が新加盟

「夢を描き、魅力ある組織の実現」 ～ つながりを深め安心して豊かな暮らしをめざす ～



山田支部長

もしかしたら皆様お使いの携帯電話も、私たちの会社や携帯電話ショップからご購入頂いているのかもしれませんが、弊社は各キャリア携帯電話ショップ・量販店・法人の3つのチャンネルを中心に携帯電話の販売をしております。

電機連合の中でもちょっと変わった業種ですが、四国エリアの事業所は香川県高松市に四国支店があり、ドコモショップ12店舗、家電量販店30店舗に組合員が業務しております。

コネクシオ労働組合は2012年3月の第一回結成準備委員会からスタートし、ユニオンショップ制を目指すべく活動を全国各地で実施して参りました。四国支部エリアにおいても支部委員と共に各職場に赴き、地道な勧誘活動を展開して参りましたが、最初は思うように行かず困難を極めました。2014年9月時点で四国エリアの正社員・契約社員・パート社員の全員が労働組合に加入して頂くことができました。これにより、私たち四国支部の組合員数は92名となり、西四国地協のエリアにおいては37名の組合員がドコモショップ3店舗、家電量販店9店舗に点在しています。

必然的に支部委員の6名も同様に点在し、委員全員揃うことが難しい事業形態であることから、電機連合でも活用されている同じWebTV会議システムを使い、毎月支部委員会を開催しています。

このようなコネクシオ労働組合四国支部ですが、ひとりひとりの組合員と膝を突き合わせ、自分たちの希望や未来を語り合える関係を目指し、日々活動して参ります。皆様からの温かいご支援、ご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



左から
岡田支部委員、高木支部委員、合田書記長

2015年統一地方選挙 地協推薦候補 が決定しました。

愛媛県議会 (西条市)



玉井 敏久

(たまい としひさ)

無所属
現愛媛県議会議員 (2期)
四国電力労組新居浜支部出身
(電機連合協力議員)

愛媛県議会 (松山市)



松井 宏治

(まつい こうじ)

民主党 (愛媛県連幹事長)
前松山市議会議員
JAM四国推薦

高知県議会 (高知市)



武政 重和

(たけまさ しげかず)

無所属
元ファイティングドッグス代表